

岡山理科大学図書館報

りとにゆーす

図書館の情報を
携帯でチェック!!



No.60 2009.11.1

● Contents ●

- ☆Springer の雑誌はOnline Journal で p.1
- ☆ダーウィン生誕200年。..... p.2~3
- ☆世界天文年 2009 p.4~5
- ☆図書や図書館にまつわる愛好会 p.6~8
- ☆図書館から p.6~8

編集・発行 岡山理科大学図書館
〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
<http://www.lib.ous.ac.jp>



特集 **メモリアルイヤー 2009**

Springer の雑誌はOnline Journal でご覧ください。

平成20年度よりSpringerLink が使える様になりました。ここでは、Springer 社が発行している1997年から現在までの、全てのOnline Journal を読むことができます。

そのため、従来、冊子体で購入していたSpringer 社の雑誌はOnline Journal に切り替えたものがありますので、注意してください。また、過去、雑誌価格の高騰などでやむなく中止となった下記の雑誌もOnline Journal で読むことができるようになりましたので、お知らせします。

詳しくは、図書館ホームページのオンラインジャーナルのページをご覧ください。

- ・ Algorithmica : An International Journal in Computer Science
- ・ Analytical and bioanalytical chemistry
- ・ Bulletin of environmental contamination and toxicology
- ・ Chromosoma : Zeitschrift fur zellkern-und chromosomenforschung
- ・ Communications in mathematical physics
- ・ European food research and technology
- ・ Mathematische Zeitschrift
- ・ Numerische Mathematik
- ・ Physics and chemistry of minerals
- ・ Probability theory and related fields
- ・ The European physical journal

そのほか



特集

メモリアルイヤー 2009

2009年は、自然科学分野において、重要なことが起きてから○百年目に当たるメモリアルイヤーです。そこで、りとにゆーす第60号では、特集を組んでみました。

ダーウィン生誕200年。「種の起原」刊行から150周年。

※「種の起原」は、「種の起源」と書かれることもあります。

進化論については、浅田伸彦先生開講の「遺伝学」「集団遺伝学」（基礎理学科）「進化動物学」「動物遺伝学」（動物学科）などが本学にはあり、大学の授業で学ばれた方もいらっしゃると思います。また、大学の授業でなくても、高校の生物を取った方は、ガラパゴス諸島でのフィンチのくちばしの話について、きっと聞いたことがあると思います。

実は、この「種の起原」って略称だと知っていましたか？

正式名称は“On the origin of species by means of natural selection or the preservation of favoured races in the struggle for life”「自然選択の方途による、すなわち生存競争において有利なレースの存続することによる、種の起原」と言います。この「種の起原」は、教会の権力が強かった19世紀に刊行され、自然科学のみに留まらず、文化的にも社会的にも、そして西洋だけではなく、東洋も含めて全世界的に影響を与えた偉大なる一冊です。この「種の起原」が刊行されてから150年目に当たります。

この機会に「種の起原」を読みましょう。と、言っても、遺伝に関する授業を受けた方以外の、進化論について何の前知識もない方には、まず読めない難解な書籍だと思います。

～先ずは入門書から読んでみよう！～



ダーウィン『種の起原』を読む / 北村雄一著。— 化学同人，2009.

所在：11号館一般 請求記号：467.5/Ki

そこで、「種の起原」初心者の方は入門書から読んでみましょう。中でも、お薦めなのが、『ダーウィン『種の起原』を読む』です。現代遺伝学の知識を基に、初心者に分かりやすく「種の起原」について書かれています。

～原典にも挑戦してみましょう～

種の起原 / チャールズ・ダーウィン著 ; 堀伸夫, 堀大才訳. — 朝倉書店, 2009

所在 : 11号館一般 請求記号 : 467.5/Da



入門書で内容を理解した方は、がんばって原典に挑戦してみましょう。岡山理科大学には、朝倉書店版などがあります。「種の起原」は初版から影響力があった図書で、初版発行当時から様々な異論や反論も出てきており、ダーウィン自身も改訂を重ね、最終的に第6版まで刊行されました。その象徴とも言えるのが、第6版のみに掲載された、「自然淘汰の理論に対する種々の反論」(章題は朝倉書店版による)と言う章です。この章には、ダーウィンへの反論についてさえも述べられています。そこからもダーウィンは自分の論に固執することなく、とても柔軟な思考の持ち主で、研究に対し真摯に取り組んでいたことが伺えます。

ぜひ、遺伝学を学ぶ学生の皆さんには、原典もしっかりと読んで偉大なるダーウィンの研究に対する姿勢も合わせて読み取って欲しいと思っています。

～種の起原が刊行された経緯や背景、その後の進化論の発展について学ぼう～

「進化」大全 : ダーウィン思想・史上最大の科学革命 / カール・ジンマー著 ; 渡辺政隆訳.

光文社, 2004

所在 : 11号館一般 請求記号 : 467.5/Zi



それでは、どのような経緯で「種の起原」が刊行されたのでしょうか。お薦めの1冊が『「進化」大全』です。ダーウィンの乗るビーグル号がガラパゴス諸島へ向かう所から始まり、「種の起原」の発行に至るまでの経緯、その後の進化論の発展、そして最近の状況まで、様々な角度から図版や写真を使って分かりやすく書かれています。

～そして、現在～

雑誌 日経サイエンス 39巻4号 通号454 2009年4月1日発行 日経サイエンス社

最新の状況を知るには、雑誌の記事や論文を見るのが一番です。「日経サイエンス」39巻4号では、特集として「進化する進化論」を取り上げています。医学や心理学などを含んで様々な専門家が語る、最先端の進化論。進化論は、どこまで進化したのでしょうか？



世界天文年 2009

2009年はイタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を夜空に向け、宇宙への扉を開いた1609年から、400年の節目の年です。国際連合、ユネスコ（国連教育科学文化機関）、国際天文学連合は、この2009年を「世界天文年（International Year of Astronomy：略称 IYA）」と決めました。

本学でも、七夕に合わせて行われたecoナイトと言うイベントの中で、総合情報学部の田邊健茲先生や岡山理科大学天文部による天文関係のイベントも行われました。

ここでは、ガリレオにまつわる図書や、最新の天文写真集をご紹介します。秋の夜長、星を見上げてみてはいかがでしょうか？

～原典を読もう～

- ・**星界の報告：他一編 / ガリレオ・ガリレイ**著；山田慶児，谷泰訳。— 岩波書店，1976。—（岩波文庫）
11号館Aコーナー 440/Ga

原著は1610年刊行。ガリレオが望遠鏡を覗いて見た、月面や銀河・星雲、そして木星の4つの衛星などが図版入りで掲載しています。初めて、人類が望遠鏡で宇宙を観察し記した書物。

- ・**天文対話. 上, 下 / ガリレオ・ガリレイ**著；青木靖三訳。— 岩波書店，1959。—（岩波文庫）
11号館Aコーナー 440/Ga

「コペルニクス思想を公然と擁護するな」と言われたガリレオが、それでも地動説を唱えた書。

～ガリレオの生涯を知ろう～

- ・**ガリレオ：はじめて「宇宙」を見た男 / ジャン=ピエール・モーリ**著；遠藤ゆかり訳。
創元社，2008。—（「知の再発見」双書；140）11号館一般 440.2/Ma

ガリレオが望遠鏡を使って天体を観察し、そして「天文対話」を著し、宗教裁判にかけられるまでを、膨大な図版と写真を使って描いています。

- ・**ローマのガリレオ：天才の栄光と破滅 / W・シーア, M・アルティガス**著；
浜林正夫，柴田知薫子訳。— 大月書店，2005 21号館一般 289.3/Ga

ガリレオは、頑固なキリスト教会と戦ったというイメージがありますが、実際はそんな単純なものではなかった様です。ガリレオとキリスト教会との確執を新しい視点でドラマ風に描いています。

～夜空を見上げよう～

秋から冬にかけては、空気が澄んで星が綺麗に見える季節です。さあ、夜空を見上げてみましょう。

・**宙（そら）ノ名前 / 林完次**写真・文。— 光琳社出版, 1995

11号館一般 443/Ha

和名が「備前の箕（み）」と言う星座をご存知ですか？星座の名前や、写真のほかに、その天体を愛でた古人の言葉なども載せ、味わい深い1冊となっています。星の名前にはロマンを感じます。

・**東京星空散歩 / 林完次**著。— 中央公論新社, 2007

11号館一般 440.37/Ha

東京は星も見えないって言うけれど、東京にだって星はある。東京で見られる星の写真集。

・**星空と宇宙の楽しみ方 / 藤井旭**著。— 河出書房新社, 2000

11号館一般 442/Fu

天体写真家として、NASAのホームページにも写真が載っている藤井氏が、これから望遠鏡を覗こうと言う方向けに、望遠鏡の選び方から、星座、月・太陽の見方などを分かりやすく説明しています。入門書としては、最適です。

～ハッブル望遠鏡で天体を見よう～

大気のない宇宙にあるハッブル宇宙望遠鏡、ここから見た星々の姿は鮮明ですごい！

・**銀河：宇宙に浮かぶ不思議な天体：ハッブル宇宙望遠鏡がとらえた驚きの宇宙 / 沼澤茂美, 脇屋奈々代**共著。— 誠文堂新光社, 2008 10号館大型本 443.6/Nu

最近の天文学を語る上で欠かせないものの1つに、「ダークマター」の解析があります。目には見えない物質ですが、重力レンズ効果を使って、その分布を可視化した写真が載っています。

・**ハッブル宇宙望遠鏡でたどる果てしない宇宙の旅 / 伊中明**著。

技術評論社, 2006. — (@Science . 3D立体写真館 ; 3) 11号館一般 440.37/ln

ハッブル望遠鏡の写真を立体写真に直してみました。3D用メガネで宇宙の奥行きを感じてみましょう。

そのほかにも、様々な天体に関する図書が、岡山理科大学図書館にはあります。11号館だけでなく、10号館大型本にもありますので、ぜひ、ご覧ください。

図書や図書館にまつわる愛好会

岡山理科大学は、理工系を学んでいる学生が多いのですが、文芸作品などの創作活動を行っている学生の愛好会があります。図書館が、いつも図書館利用案内にイラストを提供してもらっている漫画研究愛好会を含め、ここでは、そんな愛好会の皆さんに自己紹介をしていただきました。

現代文学探究会

私たち現代文学探究会（略称：げんぶかい）は、会員が執筆し持参した作品の評価や意見交換を主に行っています。作品のジャンルはライトノベルが多いですが、ガチなSF小説やミステリアスなホラーもOKです。

持参してもらった作品は、作品の“おもしろさ”、“解りやすさ”、“読みやすさ”という観点で、その日に参加した会員全員で評価をします。全員で評価すれば、同じような作品の書き方をする人もいれば異なった書き方をする人もいるので、幅広い意見を期待できます。

会員が自作の完成した作品を愛好会以外で公開したいと思った場合、げんぶかいを通じてFC2小説というサイトへ投稿、公開しています。その他にも来年度からは文化祭出展用に会誌を発行する予定です。

げんぶかいで扱う作品は基本的に執筆作品ですが、作画作品も扱っています。挿絵のようにストーリーの1コマを抜き出したものや、表紙絵のような作品のイメージ絵、つまり、ストーリーを持ったイラスト作成も活動内容に推奨しています。書くだけではなく描く方も大歓迎です。

また、会員同士の交流と執筆技術の向上を兼ねてリレー小説を行っています。同じ世界観を共有しながらも、それぞれに異なった発想でもってストーリーが展開するのが特徴です。ストーリーがどんな状況であれ、“書く楽しみを引き出す”のと“逆境を乗り切る”訓練のために、げんぶかいの会員には参加してもらっています。

このような愛好会ですので、“書く楽しみ”を知りたい方、共有したい方、伝授したい方をお待ちしています。興味を持っていただいた方は、毎週木曜日の午後4時30分以降に1学舎4階の10141教室へお越し下さい。

リレー小説：みんなのリレー小説ww
<http://relay754.blog32.fc2.com/>



FC2小説：げんぶかいが投稿した小説の一覧
<http://novel.fc2.com/novel.php?mode=ttl&uid=2861415>



ホームページ：クローバー畑
<http://gendaibungaku.web.fc2.com/>

連絡先メールアドレス
ridai_genbuken@yahoo.co.jp



げんぶかい
 現代文学探究会

げんぶかいとは、ライトノベルを主に作家活動をしている愛好会です。

執筆した作品はWeb上で公開し、ネットでの閲覧もOK♪

自分の作品を手軽に公開してみたい人、気軽に意見交換してみたい人にお勧めです。

小説のワンシーンを挿絵のように描いてみたい人も大歓迎。

あなただ、文筆で心の羽を飛ばしてみませんか？

活動場所：1学舎4階 10141教室
 活動時間：木曜日 16:30～18:00

連絡先メールアドレス
ridai_genbuken@yahoo.co.jp

FC2小説に投稿した作品の紹介ページ
<http://novel.fc2.com/novel.php?mode=ttl&uid=2861415>

みんなのリレー小説ww Mixed Students
<http://relay754.blog32.fc2.com/>

(パソコン専用)
 げんぶかいHP クローバー畑 <http://gendaibungaku.web.fc2.com/>

図書館から：生誕100年を迎えた作家たち

2009年は、太宰治、そして松本清張の生誕100周年の記念の年です。太宰治は、『人間失格』や『走れメロス』などの作品で知られ、その波瀾万丈の人生を生きたことでも有名です。また、松本清張は『黒革の手帖』や『砂の器』などの作品が、今でもドラマ化されるなど、サスペンスの巨匠と言っても良い作家で、独自の歴史観を持った作家としても有名です。

図書館にも置いてある作品もありますので、この機会に読んでみてはいかがでしょうか？

文芸図書愛好会



我々、文芸図書愛好会は機関紙の発刊を主とした活動を行っています。

機関紙は年四回発行しており、ひとつの機関紙に十作品前後を掲載しています。普段は各図書館に無料配布という形で設置させていただいていますが、学園祭では販売も行っています。ジャンルにはこだわらず純文学からミステリー小説、恋愛小説など。さらには短歌や俳句、エッセイ、コラムに至るまで様々な作品を掲載しています。

文芸図書には大学生になってから小説を書き始めた会員も多く、まだまだ拙い作品ばかりですが、みな精力的に活動しており貪欲な向上心をもったツワモノばかりです。

週に一回行われている集まりでは各々が作品を持ち寄り、みなで検討会を行うなどして作品の質を高める努力を怠りません。時には熱くなり激論を交わすこともあります。それも作品に対する作者・会員の情熱のゆえに。仲間であると同時に読者であるということを忘れず切磋琢磨しています。

同時に読者であるということを忘れず切磋琢磨しています。

また外に向けた活動のひとつとして、文芸図書では年に一回、文学賞への投稿を活動としています。内部に留まっているだけではなく、第三者からの指摘を糧とし、努力を重ねることを忘れないために行っている活動の一環です。

そして、ついに一人の会員が出版社の佳作に入賞することができました。小さな賞であるかもしれませんが、我々にとっては非常に大きな一歩だと感じるとともに、入賞できなかった会員たちも自分たちのことのように喜んだことを覚えています。

この愛好会は発足してからまだ一年と半年しか経っておりませんがやる気に満ち溢れた仲間たちと、精一杯作品を作っていきたいと思っています。

図書館から：図書の移動とコーナーの新設について

◆ 11号館 I コーナーについて



今年度の夏期休業中に11号館2階・3階の和図書のうち、比較的利用頻度の低い図書を、11号館1階“Iコーナー”（分類番号 409 ～ 586.5）に移動しました。

図書の背に灰色Iシールが貼ってあります。

この書架の近くには、A、D、E、F、G、H、Jコーナー等があります。OPACで表示された所在と請求記号を紙に書いてから、図書を探してください。

図書や図書館にまつわる愛好会 part2

漫画研究愛好会



こんにちは岡山理科大学漫画研究愛好会通称漫研です。

漫研では部誌の発行は夏と秋の年度ごとに二回行っています。部誌の内容は夏は漫画本で秋はイラスト本となっています。夏に発行される漫画本「轍」は部員それぞれが描いたオリジナル漫画を一冊（今年は上下巻の2冊）にまとめたもので今年発行された轍32には計25作品が収録されています。

秋に発行されるイラスト本は毎年決められたテーマに沿って各部員が夏休み中に描きあげたイラストを一冊にまとめたものです。ちなみに今年のテーマは「妖怪」で約40枚のイラストが収録される予定です。

これらの部誌は11月頃に岡山理科大学で開催される半田山祭「岡山理科大学漫画研究愛好会」で配布されます、部誌の他にも手作りの漫画本の配布やイラストの展示もあるのでぜひお立ち寄りください。

部誌の紹介についてはこの様な感じですが、漫研では岡山理科大学図書館利用案内に掲載されているイラストを描かせていただいたり、週1出されるお題に沿ったイラストを描く「週一イラスト」の作製など部誌発行以外の活動も行っています。

「週一イラスト」の掲載やその他活動報告は「岡山理科大学ホームページ」(URL:<http://ous-manken.boo.jp/>)にて随時更新しています。上記のURLを打ち込む以外にも検索エンジンgoogleで「漫画研究愛好会」と打ち込んだら一番上に表示されると思うので、よろしければぜひご覧になってください。

図書館から：岡山理科大学図書館システム OLION、20歳になりました。

岡山理科大学図書館システムOLION (Okayama University of Science Library Online System) が、導入されてから20年目の節目の年となりました。

図書館システム導入前は、木製のカードボックスの中に入った目録カードを1枚ずつめくって探していました。その当時に本を探すというのは、とても時間と労力を費やす作業でした。そのため、図書館システムを導入し、開学当初のものからすべての、岡山理科大学が持っている図書の情報をOLIONに入力して、現在のOPACを提供することができるようになりました。

この20年で、2回システムを入れ替え、現在のシステムは約10年前に導入したRICOHのLIMEDIOという図書館システムを基にしています。もちろん、LIMEDIO導入後も様々な面で、改良を続けて、現在の様な安定した使いやすいシステムを提供しています。